

HindIII

HindIII (high conc.)

I. 認識配列

5'.....A▼AGCT T.....3'
3'.....T TCGA▲A.....5'

II. 保存

-20°C

III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μ l 中、1 μ g の λ DNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Haemophilus influenzae Rd

V. 形状

50 mM KCl
10 mM Tris-HCl (pH 7.5)
0.1 mM EDTA
1 mM DTT
0.5 mg/ml BSA
50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C
・バッファー : B

100 mM	NaCl
10 mM	Tris-HCl (pH 8.5)
10 mM	MgCl ₂
1 mM	DTT

VII. 添付品

・10 x B Buffer (灰色ラベル)
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	(<5)	75	10	(25)	100

IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μ g の λ DNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λ DNA フラグメントの 90% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

XI. 備考

- ・本酵素は、Mg²⁺ の Mn²⁺ への置換、及び DMSO の存在下でスター活性を示すことがある。
- ・制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポン・ジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。